

1. 太陽光発電とその他再生可能エネルギー（前さんに対する意見・質問）

No.	意見・質問	回答
①	・ 集合住宅に居住中のため太陽光パネル取り付けは難しいので、ベランダに置いて蓄電できるようなものを設置したいです。（ペロブスカイト？）折り畳み式の物でベランダや公園で充電している海外の方がいらっしゃる番組をTVで観たことがあります、日本ではまだまだ実現は難しいのでしょうか。	【前さん】ドイツではベランダに取り付ける太陽光発電パネルもあると聞いたことがあります、日本ではまだ商品事例はないように思います。簡単なのは、1kWh 程度のポータブル蓄電池に併用する 200W 程度の小型パネルのセットは便利かなと思います。昼に外で充電して夜は家の中に持ち込めば、配線工事も不要で電気が使えます。
②	・ 太陽光はエネルギーの地産地消になる可能性がとても高いのに、普及促進に向けてもっと本腰を入れるべき行政の腰が引けているのはなぜなのでしょう？	【前さん】それは私も知りたいことなのですが（笑）、正直よく分かりません。太陽光発電が優れているのは世界の常識であり、日本でも使って喜んでいる人がたくさんいるのですが、政府の後押しはトーンダウンしています。たしかに 2012 年の FIT 導入時に急ぎすぎて問題があったのは事実ですが現状では大概解消されているのですが。粗探しして面白いネット界隈も問題ですが、本当に再エネで済まされると困る、化石燃料の輸入商社・重工業企業・エネルギー事業者が、政党や政府とどのように働きかけているのか……。やはり国民・住民が生活に不可欠なエネルギーを自分事として考えるのが大事です。
③	・ 太陽光発電器の製造にかかる CO ₂ 排出量はどの程度ですか。20～30 年間使用する前提なら無視できる程度でしょうか。	【前さん】国際エネルギー機関 IEA の評価では、太陽光パネルが製造時のエネルギー償却に必要な期間は単結晶シリコンで 1.2 年とされています。 https://iea-pvps.org/wp-content/uploads/2022/11/Fact-Sheet-IEA-PVPS-T12-23-LCA-update-2022.pdf 太陽光パネルは低コスト化やレアメタル利用削減が進んでおり、エネルギーペイバックはますます有利になっています。

No.	意見・質問	回答
④	- 再生エネルギーの利用が増えない理由として、電気事業者にとっては再生エネルギーよりも従来通りの電気を流通させる方が都合がいい点があるのでしょうか？ - 電力自由化に於ける送配電分離の料金体系の内容と 又ベースロード電源に位置づけられた原子力発電周辺の電力自由化に於ける料金負担の動向	【前さん】やはり、今まで通りの大規模発電所から一方通行で電気を送り売る方が旧一般電気事業者には楽ですよ。ただ一方で、発電にかかる化石燃料の価格変動に振り回されたくないで、本業の邪魔にならない範囲で再エネを少しずつ受け入れている・・・という感じでしょうか。 2016年に電力小売りは完全に自由化されていますが、かつて地域を独占していた旧一般電気事業者の発電・送電・小売りが完全に分離され、新電力にフェアに市場が開放されているか・・・という疑問が残ります。電力卸市場での価格高騰や供給不足騒ぎを経て、電力自由化への機運はトーンダウンしているのが現実でしょう。 原子力発電をどう考えるか・・・はとても簡単には言えませんが、原発さえ稼働すれば全てが解決するかのような一部発信者の発言には強い疑問を感じます。原発もかつてのように低コストで稼働することは不可能なはずですし、地震対応、将来への負の遺産も心配です。

2.その他家庭部門の取り組み（前さんに対する意見・質問）

No.	意見・質問	回答
①	テレビ朝日のコメンテーター玉川徹さんの「ラジタマ・企業レポート」家の「断熱」の重要性とは？というYoutubeの動画の中で某住宅設備機器メーカーさんが近畿大学と調査したデータではエネルギーコストに加えて医療費や薬代も減るとの情報（16.15頃）がありました。もし、医療費等が減るのであれば訴求力になる情報と思われませんが、企業と大学との調査結果をエビデンスとして使えるものでしょうか？行政は行政でさらにデータを集め裏付ける必要はあるのでしょうか？	【前さん】国交省を中心としたスマートウェルネス調査として、断熱による室内環境改善による健康向上効果が明らかになっています。それ以外にも、たくさんの調査で室内環境と健康の関係が明らかになっています。 ただ私個人は、健康の確保はあくまでミニマムだと考えています。ヒートショックや熱中症にならないことは最低限の話であり、みんなが楽に楽しく暮らせるためには、十分なレベルの快適性を確保した上で、断熱や設備の省エネ+再エネで電気代ゼロ・CO₂ゼロで済ませるのが王道と考えています。

3.その他（前さんに対する意見・質問）

No.	意見・質問	回答
①	前先生がお話しになった言葉で、生きる為にどうしたら良いかを考えること！と伺い、とても大切に感じました。現在の小、中、高校の教育は分かりませんが、教育の一つとして学ぶと良いと感じました。現在、教育の中で指導は行われているのでしょうか？	【前さん】小学校の家庭科などで、最近は住まいについても触れるようになっていっていると聞いています。健康や省エネについて理解してもらうことは大事かと思います。ただ、実際に社会に出て家選びをキチンとできるかという、それは不十分でしょう。特にお金について全く教えていないまま社会に放り出されているのは問題です。住宅価格が高騰する中、暮らしと住まいをどうするのか、みんながよく考える必要を強く感じます。

4.会議の内容（事務局に対する意見・質問）

No.	意見・質問	回答
①	「脱炭素化が進まない原因」の分類が不明確かつあいまいなのでもっと整理してほしい。議論が重複しやすく、論点が見えにくい。 - 議論する時間が十分に与えていただいた点がとても良かったです。他方、論点(＝課題)の要素分解がMECEでなく数も多いため同じような議論を繰り返す格好となったので論点の数をMECEな形で絞り込まれていると良いと思いました。実際には複数の課題を同時解決する施策を考案することになるかと思うので、その簡単からも論点は絞り込まれているほうがスムーズかと考えます。本日もありがとうございます。	【事務局】貴重なご意見をいただきありがとうございました。 第1回会議のグループワークの成果をもとに、第2回会議の論点が明確になるように分類したのですが、事務局側でグループワークの成果を大きく逸脱させるようなとりまとめは、議論の方向性を誘導することにも繋がりがねないため、慎重にあつかいました。 今後ともご意見を踏まえ、わかりやすいとりまとめと、論点の整理ができるように心がけていきます。
②	時間に追われ中途半端な議論になってしまったのが残念です。お金をかけてよいツールやサービスを作っても知られないなら意味がなく、いかに関心のない人たちや困っていない人たちの心に響き、情報が届かない人たちに伝わるようになるのかに知恵を出し合い、この限られた時間ならば問題点1を掘り下げて政策提言にもっていくぐらいが丁度よかったのではと個人的には思いました。	【事務局】貴重なご意見をいただきありがとうございました。 ご指摘のように、いかに関心のない人たちや困っていない人たちの心に響き、情報が届かない人たちに伝わるようになるのかに知恵を出し合うことは重要ですが、今回は2050年に向けた目標を実現するため、関心を持つ段階から実際に行動に移すまでのすべての段階について、取り組みを検討していただくことを選択しました。 第3回会議では、議論を深掘りできるようなグループワークとなるように心がけていきます。

No.	意見・質問	回答
③	内容・運営は、私の学術・科学団体での37年10月にわたる事務局経験からも、評価しております。質問です。私たちのSDGSの努力を一瞬にして無どころかマイナスにする大自然災害(火山、洪水、ツナミなど)・人工災害(戦争・紛争・内乱、原子力発電事故・廃棄物処理など、優先順位が先送りされている公共インフラ整備など)に触れる必要があると思う。	【事務局】貴重なご意見をいただきありがとうございました。 ご指摘いただいた災害や事故、公共インフラ整備にも触れながら議論することは重要ですが、今回は限られた会議時間のなかで、身近な暮らしの脱炭素化を実現するための話し合いに集中できるような構成としました。ご理解いただけますと幸いです。

5.会議の運営（事務局に対する意見・質問）

No.	意見・質問	回答
①	- コメンテーターの声が聴き取りにくい。マイクの感度が悪いのか、使い方が良くないのか、せっかくのコメントがはっきり聞こえなかった。 - 会場が広いのでグループ討議の時声がまるで無響室で聞いているようで聞きにくいので苦労した。	【事務局】聞き取りづらい場面があり申し訳ありませんでした。 第3回会議では、できる限り聞き取りやすいマイクの音量になるように心がけていきます。グループワーク中については、会場の構造上改善が難しい部分もありますが、聞き取りづらい場面があれば、ファシリテーターが発言を整理するなどしてできるかぎりグループワークに集中できる環境となるように心がけていきます。
②	前回は踏まえた議論をしていく中での途中増員はしない方がよいのではないかと思います。議論時間が増えたのは、とてもいいと思いました。	【事務局】体調不良や急用などの理由により、1部の会議を欠席される方もおり、途中増員や人数調整のためのグループ間の参加者の移動はやむを得ないと考えていますので、ご理解いただけますと幸いです。
③	長時間の会議なので、飲み物を用意してほしかった。	【事務局】省資源化の視点で水筒（マイボトル）を持参されている方もおり、飲み物の受け取りを希望しない方もいると考えています。脱炭素化に向けた取り組みを検討する会議ですので、廃棄物の増加に繋がりにくい飲み物の配付は控えさせていただきました。なお、施設内には水筒（マイボトル）に飲料水をそそぐことができる給水機も設置していますので、是非、ご利用いただければと考えています。

【講義に対する感想】

- ・ 前回、今回と非常に貴重なレクチャーありがとうございました。前回の質問にも明確に答えていただきありがとうございました。
- ・ 前回質問した内容に真摯に向き合いお答えくださった資料は大変勉強になりました。気候問題だけでなく、自分の今の暮らし、周りの家族の暮らしが本当に幸せなのか、また、今各々が考え、向き合う事はなんなのか、広い観点から学ぶ事の大切さを気付く機会を頂いたと感謝しています。前回よりも、より親しみやすく理解が深まるお話もとても良かったと思いました。この会議に参加した意味、今後自分の立場で出来ることを考えていきたいと思いました。
- ・ いやー、面白かった。前さんの知的格闘の歴史を聞きたいな。QAは、江守さんのも含めて、講義を深く理解するには必須でした。
- ・ 前さんのお話で環境対策は先延ばしにせずすぐに始めるべきだと思いました。

【その他の意見・感想など】

- ・ 本日も濃い話し合いが出来、有意義な時間でした。ありがとうございました
- ・ いつも分かりやすく会議の内容を整理いただきありがとうございます。次回は最後の参加となりますが、引き続きよろしくお願いします。
- ・ ゆとりをもってグループワークの話し合いが出来て良かった。
- ・ 前回より意見交換の時間が多くて良かったです。具体的な話や質問など出来て有意義でした。
- ・ ありがとうございました。グループの進行がとても良く、意見

が出やすく進められて、楽しく参加させて頂いています。脱炭素化について多くの方に知って欲しいと強く感じています。脱炭素化の必要性が区民に届くよう区の働き掛けに期待しています。

- ・ 市民会議に参加し、意識が高まったのは間違いないと思います。3回でゴールを皆で目指す方法はじっくりと考えることができ良いと思いました。また、脱線しがちなディスカッションの場面ではファシリテーターの方が適切に軌道修正して、現在やるべき事にもどることも出来、最終な達成感や、意識が高まる事につながるのではないかと思います、全体的に前向きに参加させて頂きました。
- ・ 気候危機について知識が入った上でグループ議論の時間が今回は多かったので有意義だった。意外と？今の時代にリアルコミュニケーション(直接対話)の場は貴重であり、必要なのかなと思った。ぜひこのような場作りを継続して行ってほしい。
- ・ グループワークで自分では考えられなかった事が出て、その内容を話し合うのが楽しかったです。
- ・ 貴重な会議なので、区や都、さらに国を突き動かすようなより尖った提言につながる会の活発な運営を期待しています。

※ 本資料では、アンケートに記載されていた参加者固有の情報が明らかにならないように、一部の文章を修正して掲載しています。